

# 未来

人権教育啓発シリーズ NO.5



今年度も様々な人権に関するテーマをお送りしてきました。今後も、人権について共に考えていきましょう。今回は、「性の多様性」がテーマです。



## 「多様な性」って何？

性について多くの方が、女性か男性の2つの性しか存在しない、異性を好きになるのが「当たり前」と思っているかもしれません。こうした性に関する思い込みはたくさん存在しています。

あなたならどこに印をつけますか？



印がつく箇所は一人一人違います。

からだの性	男 ←————→ 女
こころの性	男 ←————→ 女
好きになる性	男 ←————→ 女
表現する性	男 ←————→ 女

しかし実際には、心と身体の性別に違和感がある人やない人、同性を好きになる人や異性を好きになる人、誰かを好きになるのに性別にこだわらない人など様々な性の在り方があります。性は、性自認、身体的性別、性的指向など様々な側面で説明することができますが、組み合わせは一人一人異なっており、二人として同じ性の人はいません。つまり、誰もが多様な性を構成する一人なのです。



(もっと知りたい！話したい！セクシュアルマイノリティ 参照)

性自認や性的指向は、一生を通して揺らいだり変化したりすることもあります。日々の生活の場面で、また、生き方を選択する上で「生きづらさ」や「困難さ」を感じることはないように、誰もが人権意識を高めていく必要があります。

栃木県の主な取組「とちぎにじいるダイヤル」🔍

当事者支援団体「S-PEC」🔍



タブレットやスマートフォンから二次元バーコードを読み取って、このHPにアクセスしよう！  
S-PEC(エスペック)は、栃木県宇都宮市を中心に活動するLGBT当事者とその家族・友人のための支援団体です。  
2006年に性同一性障害(当時の表記)についての講演会を開催したのをきっかけに、現在では、LGBT当事者や家族などの交流会や講演会を開催しています。(S-PEC HPより)

